

業況レポート

情報連絡員報告

平成21年7月期

製造業

- ◇味噌…出荷量、消費量は横這い状態が継続。伝統食品として、その効用等について広報活動に取り組んでいる。
- ◇納豆…大手納豆メーカーの事業譲渡が発生。中小メーカーは大幅な売上減少による資金繰りの逼迫など、非常に厳しい状態に追い込まれている。
- ◇菓子…中元商戦の時期で稼ぎ時であったが、ゼリー類の売上はまずまず、他の商品はいま一つであった。
- ◇パン…夏の暑さで水ものに押されている現状。
- ◇酒…6月の県内全体の課税移出数量は、前年同月比95.7%と毎月前年割れが続いている。特に一般酒(本醸造)は清酒全体の落ち込みに大きく影響している。生酒は、昨年並みの移出数量で季節商品として定着しつつある。
- ◇繊維製品(袋物)…6月にやや持ち直した感があったが、一時的なもので7月は売上が大幅にダウン。生産予定が立たない。
- ◇木材…製品市況は依然低調。予想に反して市況の回復感が遅く受給調整が進まないのが要因。木材需要は、先行き不透明な状態が続くものと予想される。
- ◇プレカット…加工坪数は前年同月比20%減。売掛金回収の遅れが少し出てきた。雇用助成金を申請し6月から適用になった。
- ◇段ボール…好転の兆しが見えない。特に、天候不順により飲料関係や青果物のケースの伸びが悪い。
- ◇印刷(総合)…6月の印刷情報用紙の出荷額は72.5万トン(前年同月比20.1%減)[日本製紙連合会調]。チラシ・カタログ等商業印刷部門の不振が影響している。
- ◇陶磁器…夏期は毎年人出が鈍る傾向にあるが、今年も例年通り人出が少ない。
- ◇鍍金…売上は依然前年度比30~50%減の企業が多い。ただ、7月は6月よりも受注量が若干増えている。受注減の底は4月だったと思われ、その後はL字型の回復傾向。
- ◇電化機器…家電部門が6~7月にかけて堅調に推移。自動車関連の受注に関しては対前年比の減産幅は縮小してきたが、親工場の動向に対して不安を抱える事業所がみられる。
- ◇自動車部品…自動車業界の景気早期回復を願う。
- ◇工業団地(農機部品)…売上状況は、前年同月比マイナス6社、プラス1社。全体では前年比75%。

非製造業

- ◇セメント卸…袋セメント出荷袋数は、前年同月比約24%の減少。減少幅は4月に次ぐ落込みで、セメント需要の回復は当分見込めない状況が続いている。
- ◇水産卸…精算所取扱高は個人消費の低迷により前年同月比0.35%の減。冷凍業取扱高は入庫貨物が増加傾向にあり、売上高前年同月比4.4%の増。
- ◇県西地区卸売業…スーパー等の低価格販売に伴い物流は増加しているが、取引条件として安い運賃・商品が求められている。
- ◇県南地区卸売業…全体的に売上減少。1組合員が7月31

日に団地内での営業を休止。

- ◇県南地区共同店舗…広域型商業施設の新規オープンの影響が客数が大幅に減少。食料品と衣料品部門の客数が特に減少。7月の天候不順で食料品の先行き動向も不安。
- ◇県北地区共同店舗…衣料を筆頭に売上は全業種で大幅な昨対割れ。前途多難で空元気も出ず。
- ◇家電…エコポイント対象商品(大型テレビ、冷蔵庫、エアコン)が前年を上回る売上で推移。価格競争が激しく、収益面は依然厳しい。
- ◇書籍…書籍の一部が増えているが、雑誌が前月同様減少。夏休みに入ったものの売上は減少し続けている。
- ◇石油…ガソリン販売価格は前年同月比57円値下りしているが、原油価格が値上りしているため、前月比4円値上りし、また天候不順の影響もあり需要は減少している。
- ◇中古自動車…今月も新車販売不振の影響で中古自動車(オークション)出品台数が減少している。
- ◇ホテル・旅館…天候不順気味で相対的に低調。
- ◇自動車整備…7月の県全体の検査台数(指定整備を除く)は、普通車5.4%減、軽自動車1.0%の減で両車併せての業務量は対前年比で4.0%減少。厳しい状況が続いている。
- ◇総合建設…官公需の国・県・市町村工事発注は、第2四半期に入っても動向は鈍く前倒し発注の期待はずれで推移。民間工事は、引き続き住宅関連の低迷で見通しは不透明。
- ◇交通安全施設業…国の交付金による公共事業費の増額に期待。
- ◇管工事…全体として売上高の減少が続いている。
- ◇県北地区運輸…先月に引き続き、出荷物量は輸出・国内案件ともに前年対比で減少。主要顧客の休日増加でトラックの稼働が低下。燃料価格も値上り傾向にあり収益を圧迫。
- ◇県央地区軽貨物…受注高は7月に入って減少幅が拡大。機器部品や水産加工品などで輸送減が続いている。

H21.7月の業界天気図

業種	指数	売上		収益状況	
		前年同月比		前年同月比	
食料品業		▲ 66.7	☂	▲ 66.7	☂
その他業		▲ 70.0	☂	▲ 75.0	☂
卸売業		▲ 75.0	☂	▲ 50.0	☂
小売業(商店街を含む)		▲ 54.5	☂	▲ 81.8	☂
サービス業		▲ 50.0	☂	▲ 50.0	☂
建設業		▲ 100.0	☂	▲ 100.0	☂
運輸業		▲ 100.0	☂	▲ 100.0	☂
全体		▲ 70.0		▲ 76.0	

【天気図の見方】県内情報連絡員が毎月いただいている情報連絡票の景況項目について、「増加」(又は「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値(D.I値)をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。

				
30以上	10~30未満	10未満~▲10	▲10超~▲30未満	▲30以上

※表の中の数値はD.I値